

# 【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。  
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。  
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。  
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能です。特にお控えください。  
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。  
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。  
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。  
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

**【重要】teacup\_byGMOのサービス終了について**

<思いやりのあるコミュニティ宣言>  
teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。  
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

内容   [\[詳細\]](#)  
<IMG> youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

URL

[\[ケータイで使う\]](#) [\[BBSティッカー\]](#) [\[書込み通知\]](#) [\[検索\]](#)

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [\[その他\]](#)

[《前のページ](#) [21](#) [22](#) [23](#) [24](#) [25](#) [26](#) [27](#) [28](#) [29](#) [30](#) [次のページ》](#)

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

明けておめでとうございます 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2011年 1月 4日(火)18時37分49秒

[返信・引用](#)

本年も「論・旭川」並びに当掲示板を宜しくお願い申し上げます。



一年は早いものですね 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2010年12月30日(木)19時27分44秒

[返信・引用](#)

気がつけば明日はもう大晦日。  
年齢を積み重ねるごとにどんどん一年が短くなって行きます。

昨年、自分なりの懸案事項を全て直してしまったせいか、今年はどうとうHPの更新をサボってしまいました。  
深く反省しております。  
来年はまた、既存コンテンツの更新と共に新たなコンテンツを探って行きたいと考えております。  
が、どこまでできるかはあくまで未知数ですので、あまり過大な期待はしないでくださいね。

それにしても今冬の雪の少なさは尋常じゃないですねえ。(オロロンラインは大変そうですが)  
12月の旭川といえば例年連日のように雪が降り、ドカ雪も1回や2回必ず来て一気に積雪が増える時期ですが、  
今冬は間もなく年が明けようとしているのにへたをするとう地面が出てきそうな積雪しかありません。  
この年末年始も旭川地方はさほどの降雪はなさそうです。  
雪かきに追われず、楽なのはたいへん結構ですが、必ず来る「しっぺ返し」が恐ろしい・・・

なんせまだお決まりの降雪量の1/6も降っていません。  
どちらかというときささとノルマを達成して冬が早く終わってくれるほうが私としては嬉しいのですが。  
さて、どうなる事やら。

来たる年の旭川は、丸井今井跡の利用も決まり、新駅も完成して駅周辺の新たな街並みがいよいよ装いを現してきます。  
北彩都ガーデンの方向性も見えてきたようですし、これらを生かすも殺すも来年あたりが勝負の年のような気がします。  
市民一人一人が、これらに何らかの形で関与する事が今後の旭川の興廃を決めるのではないのでしょうか。  
ネットの時代、選挙とはまた別の「口出し」も重要かと思えます。

皆さま、良いお年を！

Re: 新しい旭川駅について 投稿者: momonga 投稿日: 2010年11月19日(金)22時39分21秒

[返信・引用](#)

カールジョッピンさん、再度の投稿ありがとうございます。  
昨日の朝、最近の書き込みがごっそり消えている事に気づき、何かとあたふたしている正にその時にカールジョッピンさんの書き込みがありました。  
その後管理サイトにすら繋がらなくなってしまい、対処のしようがありませんでした。  
たいへんお手数おかけしまして申し訳ありませんでした。m( )m

新しい旭川駅、わざわざ札幌から見に来られたんですね。  
私も以前から木材の内装材を使うことは聞いていたもので、それ自体は驚きませんでしたが、正直言って、あそこまでふんだんに使うとは思いませんでした。  
今となっては木材は貴重品になりつつありますから贅沢と言えば贅沢かもしれません。

ただ、あの名前入りの一万枚のプレートからなる壁材・・・  
あれは確か一枚当たり2千円だったと記憶していますが、少なくともあの部分に関しては名前を刻んだ方々の負担で充分賄えてると感じました。

今後、来年に向けてガラスの外壁が完成し、駅前広場が整備されると益々素晴らしい駅になると思います。  
こんなに素晴らしい駅になったのですから、旭川市民自らがもっともっと利用しなければバチが当たりますよね。

新しい旭川駅について 投稿者: カールジョッピン 投稿日: 2010年11月19日(金)10時48分57秒

[返信・引用](#)

こんにちは。

なるほど、トラブルの件了解しました！  
そのトラブルの合間に、ボクの幻(笑)の投稿をmomongaさんに読んでいただけていたようで良かったです。  
それでは、お言葉に甘えて同じような事を再度書かせていただきます。

先日、ボクも新しくなった旭川駅を見学に行ってきました。  
あらかじめmomongaさんの写真などを見ていたので、ある程度はイメージしていたのですが、実際自分の目で見た新駅舎はもう驚きの連続で、軽いカルチャーショックすら感じました。  
感じた事を全て書くとても長〜い文章になってしまうので、おぼろげにまとめますと、クールで開放的と言えれば聞こえがいい感じがしますが、さもすれば無機質で寒々しさすら感じるホームの雰囲気とは裏腹に、駅舎の中は木材がふんだんに使われていて、暖色系の照明と相まってとても暖かいぬくもりのある駅舎に仕上がっていて、そのギャップにとても驚きました。  
ホームからエスカレーターホールに入った途端、鼻を突く木の優しい香りに、他の駅では感じたことの無い癒しを感じましたね。

ただ、ちょっと豪華過ぎるかな？と思う部分も正直ありましたが、今後、新しい旭川駅を人の流動の単なる通過点で終わらせることなく、駅を中心に中心部の活性化が計ればいな〜と思いました。

引き続き、旧駅舎が取り壊されて駅前広場などが整備されるとの事ですが、グランドオープンの暁にはあらためてじっくり見学に行きたいと思います。  
スーパーカムイに乗って。

業務連絡です 投稿者: momonga 投稿日: 2010年11月19日(金)09時51分46秒

[返信・引用](#)

昨日の午前中に当BBSサーバーにトラブルがありました。  
最近の書き込みがごっそり表示されなくなり、その後接続自体もできなくなるというものです。

この間、書き込みが可能な時間帯もあり、たまたまこの時に書き込んだ方の投稿が復旧に伴って消えてしまっています。  
私が把握している限りではカールジョッピンさんの書き込みが消えています。  
カールジョッピンさん、申し訳ないですが、もしよければ再投稿をお願いします。

もし他にも書き込んだ方がいらっしゃれば、ご面倒でも再投稿していただければ幸いです。m( )m

シャイニオン 投稿者: ゆきむし 投稿日: 2010年11月18日(木)18時03分1秒

[返信・引用](#)

> [No. 392\[元記事へ\]](#)

tororoさんへ

高校時代でしたか！私は…もう社会人でした(笑)  
職場のラジオから毎日流れていたのを覚えています！  
確かに最近、再結成ブームだったりしますが、テレビとかもLOOKは出ませんね。  
ほかの方々はもう音楽活動されてないんですね？  
私も何か気になってきたのでちょっと調べてみようと思います！

!! 投稿者: tororo 投稿日: 2010年11月17日(水)01時21分34秒

[返信・引用](#)

シャイニオンって!!懐かしすぎます!!  
私も高校時代好きでした  
最近よく80年代のヒット曲がテレビに出て懐かしんでいます  
そういえばLOOK出ないですね??  
現在の姿や歌声聞いてみたいです!!  
旭川に来られるとは何か縁があるのでしょうか?  
何か気になってきました☺

Re: シャイニオン 投稿者: ゆきむし 投稿日: 2010年11月13日(土)21時28分51秒

[返信・引用](#)

> [No. 389\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

本当に素晴らしいヴォーカリストですよ。  
 確かにかなり先取りのクリスマスコンサートですね(笑)  
 でもあの雪の美術館のホールなら雰囲気バッチリでしょうね～！

Re: 旭川新駅舎 投稿者: momonga 投稿日: 2010年11月13日(土)20時42分19秒

[返信・引用](#)

元・札幌市民さんはじめまして。  
 富山市の資料のご紹介ありがとうございます。たいへん参考になりました。

富山市のコンパクトシティ化への取り組みはすばらしいものがありますね。  
 特に既存軌道を有効に活用しようとする試みは、おっしゃる通り旭川にも見習える点が多々あると思います。  
 私が特に着目したのは、元々JRの路線で当然ながら富山駅に直接入線していた軌道を、中心街手前でわざわざ路面軌道に切り替えてLRトを走らせているところです。  
 ははあ、こういう手もあったんだ、と感心しました。  
 これだと中心街でバス並みの利便性を、郊外・近隣では専用軌道を生かした高速性と確実性を確保できます。  
 また、沿線駅におけるバスとのジョイント。これなどはDMVが有効だと感じました。  
 クルマを否定してしまうのではなく、沿線駅に駐車場を整備してクルマとレールの併用を促進する考え方は以前から私も考えていたところでした。

旭川も隣接町村を加えた都市圏人口は約40万人程度で、人口規模では富山市と同じくらいではないでしょうか。  
 マイカーへの依存度は、おそらく富山以上に高いのではないかと思います。  
 バス路線が充実している事もあって、JRへの依存度は極端に低くなっているのが実情です。  
 事実上、ほとんど特急列車専用軌道のような使われ方しかしていません。実にもったいない・・・

旭川で唯一すぐにでも取り組めるとすれば富良野線だと思います。  
 富良野線は、近年の沿線宅地化に伴い線が丘駅が新設されるなど、利用者が増えて都市圏軌道の性格が増しています。  
 沿線ちょっと離れた所に旭川医大をはじめとする病院・教育機関も多く、その先には旭川空港、美瑛富良野の観光地もあります。  
 DMVなど大いに活躍できる環境かと思えます。  
 富山市の発想を少しでも見習って工夫すれば、強力な都市圏軌道と成り得ると思うのです。

Re: シャイニオン 投稿者: momonga 投稿日: 2010年11月13日(土)18時39分33秒

[返信・引用](#)

ゆきむしさんへ

シャイニオン、覚えてますヨ。  
 あの声は一度聞けば忘れません。すばらしいボーカルですよ。  
 今月27日ですか、クリスマスと言うにはちょっと早い気が・・・

Re: 旭川新駅舎 投稿者: 元・札幌市民 投稿日: 2010年11月12日(金)22時09分30秒

[返信・引用](#)> [No.386\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

こんばんは。私は旭川には在住経験は無いのですが、親戚がいて昔からよく遊びに行ったり、札幌在勤の折に旭川をカバーしていた関係で週のうち1~2日を旭川で過ごしているうちにすっかり旭川ファンになりました。今は東京に居るのですが、たまには旭川の情報に触れたいと思い、ちょくちょく携帯から拝見していたのですが、今回初めて投稿させて頂きます。  
 まずは新駅舎完成おめでとうございます。私はまだ夏に西武のエレベーターから完成前の駅舎を眺めただけで、中は見取り図や写真でしか見ていないので、まずは早く中を見物に行きたいと思っています。今回の新駅舎開業で富良野線から函館本線への直通も可能になったと聞きました。バリエーションが広がるのはいいことでしょうね。  
 先日の記事で「この高架駅舎を良い機会にもっと市民のJR利用促進を図るべき」とのご意見を拝見しましたが、この記事を読んで富山市で行われている高山本線活性化実験を思い出しました。これは富山市がJR西日本に委託して運行本数を増やしたり、P&R駐車場を作ったり、フィーダーバスを走らせたりという試みなのですが、JR4線が乗り入れている旭川にも活かせるのではないかと考えた次第です。  
 もちろん費用対効果を検証する必要はあるでしょうが、運行本数が増えればJRを選択するという人も居るでしょうし、中心街の活性化にも繋がると思います。ましてや、駅周辺の大地主であるJR北海道にとっても悪い話ではないでしょう。色々と展開が考えられるのではないのでしょうか。  
<http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/contents/suishinkenkyuukai/3/s1.pdf>

シャイニオン 投稿者: ゆきむし 投稿日: 2010年11月11日(木)19時32分15秒

[返信・引用](#)

って曲覚えてますか?85年だったでしょうか…LOOKというバンドが歌っていた「シャイニオン君が哀しい」  
 大好きでレコード持ってました！  
 そのボーカルだった鈴木トオルさん、今月27日雪の美術館でクリスマスコンサートがありますよ！楽しみです！  
 生シャイニオンが早く聴きたい!!!!

旭川新駅舎 投稿者: momonga 投稿日: 2010年10月11日(月)23時12分6秒

[返信・引用](#)

旧駅舎最終日の9日と、新駅舎プレオープン2日目の今日、記念撮影のため旭川駅へ行ってきました。  
 食べマルシェの開催とも重なったことから、両日とも、まあ、ものすごい人出でした。

私は街の中へ行く時はよく富良野線を利用するのですが、その富良野線列車もかなりの混雑ぶりです。増結して5分以上の遅れがでるほどでした。  
 新駅舎への市民の関心は思った以上に高らしく、ホームまで見物に来る人もかなりの数いたようです。  
 私同様、カメラやビデオを抱えてホームを往来する人も相当な数でした(笑)  
 旭川駅も普段からこのくらい利用者があるといいんですけどね。

まずは新駅舎の印象ですが、たいへんすばらしい駅舎だと思います。  
 何がすばらしいかというと、駅本来の機能が必要最小限のコンパクトさにまとめられており、非常に分かり易い事です。  
 構造的にも、吹き抜けやガラス壁がうまく使われており、コンコースや改札口などの見通しが良く、初めてでもすんなり行く事ができます。  
 昨今の、駅なのかショッピングモールなのかようわからん駅舎が多い中、この駅機能優先の設計はたいへん好感が持てます。  
 木材を多用した内装も評判通り非常にいいですね。床が暖色系なのもカーペット敷きのような暖か味を感じました。  
 これから工事の始まるガラス外壁とのマッチングが楽しみです。

ホームは、これまで平和通り側が1番線だったのとは逆になり、忠別川寄りが1番線で平和通り側が7番線となっています。  
 離れ小島だった富良野線ホームが晴れて1~2番線となり、ようやく他のホームとの「合体」が実現しました。  
 最も利用の多い函館線は3~4番線で、5~7番線が宗谷線・石北線となっていますが、特急オホーツクなどは4番線に入線していました。  
 まだ工事用シートで外壁全面を覆われているため、ホーム上から外の景色を望む事はできませんが、完成すれば全国に例を見ないロケーションとなるはずで、これは来年までの楽しみです。

今回改めて感じさせられた事は、

こうして1~7番線がまとまると、旭川駅というのは今でもひっきりなしに列車が出入りする活気のある駅だったんだなあ、という事です。

昔と比べるとずいぶん利用者が減ったのは事実ですし、道内特急の全てが札幌発着となって旭川での乗り換え需要もほとんどなくなってしまったのも事実です。

これまでの、だらんと間隔の空いた屋外ホームでは何か寂しさしか感じなかったのですが、実はそうではなかった・・・まあ、今回のようにたまたま多くの人が入り込んでいたから尚更そう感じたのかもしれませんが。

しかしながら、この高架駅を良い機会にもっともっと市民のJR利用促進を図るべきではないでしょうか。

いや、JR北海道にやる気などありませんから、こういう時こそ旭川独自の第3セクターでも構いません。

中心街から四方に向かって鉄道の延びている旭川は、この恵まれた固定軌道を市内公共交通として最大限に活用すべきだと思うのです。

DMVの運行なども本気で考えるべきです。

上：新駅ホームに勢揃いした各路線の列車

中：ホームからコンコースへのエスカレーターホール。格子状の木材が特徴的だ。

下：1~7番線各ホームと東西改札口を結ぶ2Fコンコース



旭川新駅舎 投稿者: momonga 投稿日: 2010年10月11日(月)23時01分21秒

[返信・引用](#)

上：コンコースから見ることのできる1Fフロア

中：同じくコンコースから見る西改札口

下：当面は旧ホームを仮設通路で横切って新駅舎へ往来する事になる





「氷点橋」「クリスタル橋」 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年10月3日(日)21時12分38秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

忠別川に架かる2つの新橋の名前が決まりましたね。  
実は私も応募していましたが、見事に蹴られました(笑)  
どちらか1本はおそらく「北彩都」の名が冠されるだろうと予想してたのですが、これもまた外れました。

決定理由は、応募の中で最も多かった名称という事なのであまりいちゃもんはつけないのですが、以前、「まちづくり電子提案箱」に神楽3条通りの名称を提案した時、検討会を設けると返事を寄こしておきながら反故にされ、いつのまにか「クリスタル通り」という名前を付けられていた”実績”を持つ私としては少々この名に抵抗があります。いえ、反故にされたから気に入らないと言うのではなく・・・

「氷点橋」については、言うまでもなく旭川を舞台とした故三浦綾子の小説にちなんだ名であり、全国的にも高い知名度がありますし、実際のこの橋を渡った先には見本林がある事から妥当性があると思います。

しかしながら、「クリスタル橋」というのはいかがなものでしょう？  
この橋の先にクリスタルホールがあるから、と言ったところでそんな建物がある事を知っているのは市民くらいなものです。クリスタルホール自体に知名度がある訳でも何でもありません。そもそも、旭川がクリスタルと何か繋がりがあるかと言えば、実際にはまったく何もありません。単にクリスタルが透き通った氷を連想し、厳寒の旭川にイメージが合うといっただけに過ぎないのです。

ホールの名をクリスタルとしたまではまあ良いとして、  
加えてクリスタル通りがあり、さらにクリスタル橋まであるとなると、  
旭川を訪れる人々に、旭川はクリスタルが特産品なのか？ここでクリスタルグラスや工芸品でも作られているのか？  
といった誤ったメッセージを無言の内に発信してしまう可能性があります。  
それだったら「ダイヤモンドダスト橋」とでもした方がよっぽど良かった。

イメージが良い、言葉の響きが美しい、というだけで、  
本来何の係わりもない名称を、応募が多かったからという理由だけで付けてしまうのだったら、  
橋梁名称検討委員会というのはいったい何のためにあったのでしょうか。

Re: やさそぼちゃんさん 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年9月27日(月)19時05分22秒

[返信・引用](#)

＞「地図の通り出来ている」と書いたのは  
＞地図に書いてある「開削道路」の部分の事を書いたつもりでした。

失礼しました。  
てっきり市街予定地の街路も含んでの意味と勘違いしました。

美瑛については単に「美瑛町」と書いたもので紛らわしかったかもしれません。  
あくまで神居村の市街予定地部分に付けられた字名の事です。つまり神居村字美瑛ですね。  
同様に雨紛であれば神居村字雨紛となります。  
現在の神居〇条〇丁目で見られる範囲の内、旭川大橋から神居十字街（1～10丁目）付近が美瑛でした。  
それを過ぎると雨紛です。

ただ、この美瑛の名には非常に不可解なところがありまして、  
神居村市街予定地に正式に美瑛の名が付けられたのは明治32年の事です、  
翌年の明治33年に、神楽村から分村して新たにできたのがまたまた美瑛村、つまり現在の美瑛町です。  
何故に既に使われている名前をわざわざ村名としたのか？  
当時は相当ややこしい事になったと想像できますが、この辺りは私もまだ詳しく調べておりません。

結果として、神居村の美瑛がその後再び字名を変えて美瑛の名を譲る形となるのですが、  
どうしてこんな事が起こったのか私も興味のあるところです。

富貴堂について 投稿者: [やさそぼちゃん](#) 投稿日: 2010年9月26日(日)21時05分36秒

[返信・引用](#)

富貴堂は大正8年創業の老舗です。なので、旭川の客が一番知っている書店でもあります。  
コーチャンフオーとの差は書店員の年季の違いが考えられます  
富貴堂は学校教科書の卸業や、企業への文具卸をやってる外商部もあり、  
老舗ならではの利権も幾つか抱えておりますので書籍の小売りだけが経営基盤ではありません

店舗での蔵書数では負けるけど、郷土性を重視したマニアックな棚作りは、簡単には真似できないと思います。  
富貴堂が大型書店を作らなかったのは、不景気になった時、簡単に規模を縮小出来るからと可能性も大きいです。利益よりも会社を潰さないことに重きを置いているのだと思います。  
電子書籍化の勢いは物凄く早く、あと10年もすればかなりの割合の出版物が電子化すると思います  
これは単に利便性の事ではなく、現在の状況では紙を使って本を出すコストすら難しくなる状況であるからです。  
あと、コーチャンフォーの沿革を見ましたが、書店業としての歴史が余りにも浅すぎます  
電子書籍化の流れに逆らって、あえて人口36万人を切ってる旭川に大型書店を作るのは無謀だと思うのですが…

Re: やさそぼちよんさん 投稿者: やさそぼちよん 投稿日: 2010年 9月26日(日)20時59分50秒

> [No. 379\[元記事へ\]](#)

「地図の通り出来ている」と書いたのは地図に書いてある「開削道路」の部分の事を書いたつもりでした。地図を拡大して見ると細い枠線は「市街区画地」と書いてあるのが見えたので、ここは道路になってないだろうとは思ってました……（これだと曙地域が全然未開の地域になってしまう。）

神居村が美瑛と呼ばれていた話ですが、旭川こうほうのHTML版に

> 上川地方で最初に米の試作に成功したのは、開村の翌年の明治24年、  
> 神居村雨紛原野の杉沢繁吉が、赤毛種の稲から1斗5升（約23・）を収穫したとされています。

という記述があります

[http://webcache.googleusercontent.com/search?q=cache:EXHgl\\_jinYR8J:www.city.asahikawa.hokkaido.jp/koho/html/tokusyuu.htm+%E7%A5%9E%E5%B1%85%E6%9D%91%E3%80%81%E9%9B%A8%E7%B4%9B%E3%8](http://webcache.googleusercontent.com/search?q=cache:EXHgl_jinYR8J:www.city.asahikawa.hokkaido.jp/koho/html/tokusyuu.htm+%E7%A5%9E%E5%B1%85%E6%9D%91%E3%80%81%E9%9B%A8%E7%B4%9B%E3%8)

該当リンクの文章の流れを読むと、古い村名で記述してるとは思うのです。ということは、神居村美瑛町と神居村雨紛という二つのエリアがこの時点で存在していたということなのでしょう。確かに明治20年代の建物の由来等を見ると「神居村美瑛町」という表記が時々出てきますが、この名称が消えた時期がネットで調べるだけでは分からないのです…。

Re: コーチャンフォー 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 9月26日(日)19時17分55秒

[返信・引用](#)

ばちさんはじめまして。

コーチャンフォー、私も開店してから2度ほど行ってみました。なるほど店は広く、あの蔵書・在庫の多さは確かに大きな魅力ですね。意外だったのは、想像してたほど店内は飾り気がなかったということです。非常にシンプルに書棚・商品棚がフロアいっぱい縦横に並べられており、虚飾を廃しその分在庫を多くしてるといった感じですね。必要以上の装飾をしようならアウトだな、と私は思ってたので逆にこれは好感が持てました。

で、実際に店を見た上での素直な感想ですが、申し訳ないですが、確かに在庫は多いものの特にこれといった斬新さは感じられず、「何年持つかな？」という印象です。

私の以前の書き込みにもあるように、書籍業界は非常に利益の薄い商売です。コーチャンフォーのように、あれだけ店舗に膨大なコストをかけるとその回収は並大抵の事ではありません。書籍だけではまず不可能で、よほど強力な複合店、あるいは利益を生む併設商品がなければ無理です。旭川においては、富貴堂が今の郊外店出店攻勢をかけた時に、富貴堂にとっても大きな賭けであった事を私は知っています。ただ当時は、レンタルビデオの併設という斬新な新設商品の存在があったため大幅集客増に成功し、定着し、現在に至ってますが、それがなかったブックス平和やアラモアナの末路はご存知のとおりです。

ばちさん言われるとおり、コーチャンフォーがやっている事は、旭川では富貴堂が先にやるべきだったのでは？と私も思います。しかし、今回のドトールや、ミスドなどのファーストフードを併設する程度では集客は知れています。しかもあれだけの大規模店を支えるだけの利益は生み出せないと思われまます。かつてのレンタルビデオに匹敵するような、強力な集客力を発揮する新たな商品でもない限り企業体力がもたないと思います。

今回コーチャンフォーを覗いてみてびっくりしたのはレジ端末の多さです。

書籍プースのレジカウンターだけでも8台あるでしょうか。しかし良く良く考えてみると、要するにそれだけレジカウンターに来る客がいなければ成り立たないという証左でもあると思います。残念ながら私が行った2度とも、客入りはかなりあったにも関わらずレジカウンターは閑散としていました。コーチャンフォーは、札幌出店までで留めるべきだったと思います。

Re: やさそぼちよんさん 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 9月25日(土)18時21分39秒

[返信・引用](#)

> 兎に角、この頃の道路開削の速度は尋常ではないので、  
> この地図の通りに道路が出来ていた可能性は高いと想います

樺戸・空知両監獄の囚人によって工事が行われた道路は、あくまで上川・北見道路の本線のみです。旭川の市街地街路については道庁が別途に工事してますので、この時点でこの地図通りに道路ができていたという事はありませぬ。

市街地街路は明治23年に5650メートル、25年に2657メートルを整備したとされており、現在の神居十字街・忠別橋を経由して市街に入る新ルートと、1条・2条通りを中心とした1本道が主なものです。つまり明治23年開村の時点では、まだようやく背骨になる道路が通ったのみで、中心地域に基盤の目の街路がある程度形になってくるのは、この後数年経ってからの事になります。

おっしゃるとおり、当初これらの街路は「いろはにほへと」で呼ばれ、一条通は「ほ通り」でした。その後の一時期、宮下町・忠別町・寺町などの町名が宛てられ、現在の条・丁方式で呼ばれるようになったのは明治32年からの事です。意外と知られてないのが、神居市街地がこの時正式に「美瑛町」と名付けられている事ですね。忠別大駅が「第一美英舎」となっていたように、もともと「ビエイ」の名はこちらが本家と言えます。

コーチャンフォー 投稿者: ばち 投稿日: 2010年 9月23日(木)12時37分49秒

[返信・引用](#)

はじめまして。実家は札幌、昨年のお美深暮らしを経て春から旭川に住んでいるものです。とうとうコーチャンフォーがオープンしましたね。私は「待ってました！」という人間です。実は今年初め頃からのコーチャンフォー出店の報道の頃からこちらに度々邪魔していました。

旭川で暮らしてみると本当にマトモな書店がないことになりました。比較的良好なのがマルカツ富貴堂と緑町の宮脇なのですが、欲しいと思える本に出会えないのが、本好きにとってがっかりでした。

たとえ本のデータ化（私もiphoneで電子書籍購入経験もあります）が進んでも、紙の本はなくなるというのは私も同じ思いです。  
その点、音楽、とくにアルバムは試聴できないことがデフォルトですから、ネットとの親和性が高く、店舗で購入するメリットが感じにくいのだと思います。それに比べれば、本は店舗で購入することのメリットが高い存在であり、だからこそ大規模化が求められるのではないのでしょうか。

本・文具・音楽・カフェという大型複合店舗も、富貴堂なら作れなくはなかったはずですが。  
元々富貴堂は文具館も持ってますし、郊外型店舗もカフェ以外は「そこそこ」のものを持ってたわけで。東光の富貴堂はすぐそばにミスドとモスもあってフォーに近い形態でしたよね。  
それでも「作らなかった」のか「作れなかった」のかはわかりませんが、結果的に今もないわけで。

ただ、コーチャンフォーも札幌に比べると規模は小さいですし、カフェもドトールで子ども連れ家族には使いにくいんじゃないかな？と思います。  
コーチャンフォーは待ちに待った存在ですけど、富貴堂にも潰れて欲しくはないので、使い分けたいなあと自分としては思っています。

(無題) 投稿者: やさそぼちゃん 投稿日: 2010年9月22日(水)22時24分47秒

[返信・引用](#)

滝川～旭川間の仮歩道開削工事が僅か3ヶ月で終了し、  
屯田兵が入植する年には馬が通れる道幅に上川道路は拡張が終わっていましたが  
兎に角、この頃の道路開削の速度は尋常ではないので、  
この地図の通りに道路が出来ていた可能性は高いと想います  
(ただ、馬車が通れるレベルの整地ではなかったと想いますが)  
何故か1条通りの名称は「ほ通り」と言われてたそうです。

この頃、鈴木亀蔵は小間物屋的な店をやっていたみたいですが、  
他に住んでる人の名前を調べると、後の酒造メーカーの創立メンバーとか出てきます

鈴木亀蔵の碑は亀吉2丁目の亀吉公園の中にひっそりとあるらしいですw

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: momonga 投稿日: 2010年9月22日(水)00時03分56秒

[返信・引用](#)

やさそぼちゃんさん、  
ここに描かれている街路はあくまで計画図であって実際にある道路ではありません。  
この年に実在する道路は、まだ上川道路（忠別太まで）と北見道路（今の一条通～大雪通）くらいなものです。  
ただ、これが現在に至る旭川的设计図になっている事には違いありません。

明治23年は開村告示の年であり、永山屯田兵村の工事が始まった年です。  
おっしゃる通り、この頃から曙付近に集落らしきものが形成され始めていますね。  
兵村工事目当ての商人が中心だと思います。

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: やさそぼちゃん 投稿日: 2010年9月21日(火)23時31分51秒

[返信・引用](#)

> [No.374\[元記事へ\]](#)

これは珍しい地図ですね。明治23年の時点で道路が  
これだけ開削されてるのを初めて知りました。  
すでに曙地域にも、人が結構、住んでるんですね  
多分、笠原喜助、笠原喜八、栢田兵吉、栢田亀次郎といった札幌からの単身赴任組なんでしょうw

あと、未確認なんですけど、亀吉には鈴木亀蔵の碑があるらしいですね。  
一体、どんなものなのか興味があります

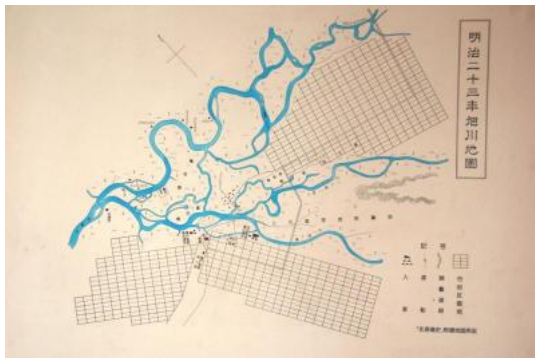
Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: momonga 投稿日: 2010年9月19日(日)12時06分3秒

[返信・引用](#)

やさそぼちゃんさん、ずいぶんと熱心に調べられているんですね。  
私も見習わなくてはなりません（笑）

故村上久吉さんは、最初の旭川市史編さん委員であり、永山町史なども手がけ、  
「旭川市史小話」「郷土を拓く人々」などの著書がある、当時の郷土史の重鎮であり、アイヌ研究者でもあります。  
現在市内にある碑の中で、史跡関係についての碑文は村上氏によるところが大きかったかもしれませんね。  
私も古本屋で見つけた村上氏の著書を貴重な参考書として愛読しております。

旭川には、開村前後の詳しい史実や様子を統括して知る事ができる施設がありませんが、  
碑文を含め、意外なところで意外な情報が手に入る事があります。  
農作試験所(忠別太駅)の、建物内の壁に掛けてある解説パネルの一枚に、下の地図があります。  
写真ではちょっと見づらいかもしれませんが、当時の忠別太にあった主な施設やアイヌ居住地が書き込まれており、  
もちろん権戸・空知の監獄出張所や、移転後の測候所や農作試験所なども記されています。  
明治23年ですから、この建物が駅になってからの様子ですね。  
第一市街予定地(神居)第二市街予定地(忠和)第三市街予定地(中心部)として書き込まれている街路は概ね現在と一致します。  
各碑が置かれている場所、あるいは碑文に記されている場所に一致するはずですよ。



Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: やさそぼちゃん 投稿日: 2010年9月18日(土)21時54分59秒

[返信・引用](#)

> [No.372\[元記事へ\]](#)

全部解決しました

当時の資料によると、樺戸監獄出張所のタコ部屋は、「忠別太駅違から西に二丁離れた場所に建っている」という表記があってそれが、現在も碑が置かれている場所（市営住宅周辺）にあったそうです。（※先日、旭川市史編纂部に質問した所、上のお答えを頂きました）

空知監獄の出張所に関する石碑は神居交番の前に置かれていて「ここより東に200Mの地（現美瑛川の中洲）」との記載があります。  
<http://www12.tok2.com/home2/airtax04/kinen33.htm>  
 （拓道館さんのページより）

上川郡農業試験跡地の碑も、神居1-1に建っている様なので、ほとんど近隣に建てられたと思われます。  
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/bunkashinko/sisekihyouji2/9/9.html>  
 （忠別太駅違の碑は別の所に建ってます）

同様に、上川二等測候所跡は神居1-4に碑があるので、その周囲に引越したと思われるす  
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/bunkashinko/sisekihyouji2/22/22.html>

さて、問題の忠別太大番屋の跡の石碑ですが、  
<http://borealocarcos.blogspot.com/2007/08/blog-post.html>  
 （石碑の存在はこのブログの記事で知りました）  
 教育委員会に電話で質問した所、非常に面白い答えが帰ってきました  
 これが作られたのは昭和33年で、当時、旭川市史の編纂委員だった  
 村上久吉という人が、アイヌの長老等からの言質など、様々な資料から分析を行い  
 木管で建てたものが、そのルーツだったのだそうです。  
 その木管が旭川開基80周年の時に石碑に変えられたんですが、  
 配置された場所が道路の区画整理に引っかかってしまい、少し別の位置に  
 移動したのが、その石碑だということですw

最近旭川開拓のルーツを、ロシアの南下政策の歴史辺りから掘り下げて勝手に想像して楽しんでいる今日この頃です。石狩川を上って函館本線を作るのではなく、他のルートで内陸部を開拓する計画は無かったのか？とか、旭川駅は何故あの場所に作られたのか？とか、何の裏付けも無いまま勝手に想像してます。富良野本線の強烈な右カーブとか、大正時代と比較的遅い時期に作られている石北本線が何故、あんな中途半端な線路図なのか？とか、何処かで不思議なパワーが働いていると思えないのです。

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 9月18日(土)13時49分58秒

[返信・引用](#)

樺戸監獄出張所は、確かに当初忠別太駅違の建物を事務所棟に使った後、近くに引越してますね。四人用のタコ部屋もあったはず。また、上川仮道路の改修が始まる頃には空知監獄の出張所もやはり神居にありました。いずれも建物はもちろん、写真すら残ってないので、いつまで棟が存在していたのかは私も知りません。

忠別太駅違の建物はずいぶんと様々な用途に使われていますよね。元々は長官に就任した岩村通俊の命を受けた高畑利宜が、上川仮道路の工事と平行して農作試験所として建てた建物ですが、忠別太番屋がほったて小屋だったのに対し、上川に建てられた初めての本格的建築物です。

農作試験所は翌年別の場所に引越して、替わりに入ったのが樺戸監獄出張所ですね。そしてその内の一部屋が測候所としても使われました。この時はなんと電話も引かれています。さらにその後、道庁を退官した高畑利宜がこの建物を駅違として払い下げを受け、忠別太駅通第一美英舎としました。建てられてからわずか3年後の出来事で、ずいぶんと目まぐるしく用途を変えています。

当初から宿泊所を兼ねた建物なので、開村前に上川を訪れた要人達も皆ここに宿泊しています。岩村通俊や永山武四郎はもちろん、桂太郎はじめとする軍の要人や宮内省の役人、侍従など層々たるメンバーです。このメンバーを見るだけで、当時彼らがこの地をどうしようとしていたかが想像できます。

ちょっと話がそれてしまいました。問題の碑ですが、私も碑文についてはいつどなたが書かれたものなのか詳しい事は分かりませんが、碑ができる前にもこういった史跡には標柱が建てられていたと思います。ただ、碑文についてはおそらく碑が造られる時に改めて書かれたのでしょうか。

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: やさそぼちゃん 投稿日: 2010年 9月17日(金)01時49分44秒

[返信・引用](#)

> [No.370\[元記事へ\]](#)

レスポンスありがとうございます。なるほど、村山伝兵衛の番屋は定住していたとは言い難いですね。

あと、忠和の市営住宅の辺りには「樺戸監獄出張所の碑」というのがあるみたいなんですけど碑文にどの様なことが書いてあるのかがネット上では良くわかりませんでした。忠別太駅通第一美英舎が一期、樺戸監獄出張所として使われていたという記載は見かけますがここを一時的に監獄出張所として使用した後、碑が立っている場所に出張所が新築されたということなんでしょうか？旭川って、新しく碑文建てるのは好きなのに、古いものに関してはあまりフォローしませんね。特に、忠和の碑文は「なんでこんな所にあるんだろ？」って所にいきなりあるので、ミステリアスすぎますw

樺戸監獄出張所の碑は五十嵐広三氏が建てたものみたいなので、ひょっとしたら村山伝兵衛の碑文もこの時期に作られたんだろうか？などと勝手に想像してみたりもするのですが...

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 9月16日(木)23時27分49秒

[返信・引用](#)

やさそぼちゃんさん、はじめまして。久々の歴史談議、嬉しい限りです。

忠別太番屋は、まったくおっしゃる通りで、安政年間には既に忠別太に存在した上川で初めての和人による建築といわれています。当時の松前藩による石狩場所請負人であった村山伝兵衛が、上川アイヌとの交易のために建てたもので、松田市太郎、松浦武四郎の探検に始まり、明治に入ってから高畑利宜、そしてライマンの調査の時など、必ず登場するのがこの番屋です。まさにこの時代、未開の上川へ入る者達の橋頭堡であったと言えます。場所は現在の旭川大橋付近であることは間違いのないと思います。

明治5年の高畑利宜の上川調査の頃には既に廃屋となっていたようですが、開拓使が置かれる明治はじめ頃までは、春に石狩へ出稼ぎに出て秋に上川へ戻る上川アイヌに同行して番屋で越冬する番人が常時1



～2人いたようです。

酷寒の地、上川で越冬した和人はおそらくこの時の番人が初めてであろうと思いますが、これを「定住」と呼ぶのかというところではないと思います。今で言う出張所みたいなものです。かなり過酷ですが。

ですから、旭川開村の遥か前、明治10年頃にアイヌメノコと結婚して住居を構えた鈴木亀蔵が和人定住第一号というのは疑いようの無いところだと思います。

また、開村直前においても、農事試作所や監獄出張所、測候所などに和人が常駐してましたが、これらもあくまで一時的な滞在であって、定住とは言い難いと思います。

それにしても、村山伝兵衛さんの子孫については私もまったく調べたことはありませんが、末裔の方がブログやツイッターをやっているなんてのはまさに驚異ですね（笑）

「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: [やさそぼちよん](#) 投稿日: 2010年9月16日(木)15時16分59秒 [返信・引用](#)

はじめまして、とても楽しく拝見させて頂いております。ただ、「旭川？ここは忠別じゃないのか？」の項目にて疑問に思う箇所がありました。

これを読むと、「忠別太近辺の定住倭人は鈴木亀蔵ただ一人」ということになっておりますが、

調べてみると探検家の松浦武四郎と地質学者のライマン・ルートが1874年に上川盆地を訪れた時六代目村山伝兵衛なる人物が忠別太付近に番屋を作り、アイヌ人と交易をしていたみたいです。実はこのことに関する石碑が忠和にありまして、それを読むと、

「幕末安政のころに番屋を建てて、その後明治10年前後に荒廃して影を失った」

みたいな事が書かれています。

番屋の位置は、石碑の周辺100メートル周囲であるらしいのですが、正確な位置は不明だそうです。

村山伝兵衛なる人物は、元禄時代に蝦夷地に移った北海道内を代表する豪商で、

三代目ぐらまでは、足跡は分かるんですけど、それ以降の流れが分かりません。

ただ、十代目の方は存命で、ブログやったりツイッターやったりするので不思議ですw

HACに思う 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年9月15日(水)20時47分28秒 [返信・引用](#)

JALが経営から撤退し、今後の運営を巡って問題になっているHAC（北海道エアシステム）ですが、どうやら旭川一函館線については存続させようという意志がまるでないようです。

新体制への出資協議には、北海道を主体として、今後も路線継続が見込まれる函館市や釧路市、大空町（女満別）などの自治体、それに丘珠空港を抱える札幌市が加わっていますが、旭川市は既に蚊帳の外といった感じです。蚊帳の外と言いますが、旭川市も口では路線存続を訴えながら出資に加わる気はないようで、やる気が感じられません。

このことは、HAC本来の目的の変質ぶりも大いに関係している気がします。

HACは、当初の設立目的がいつのまにか綺麗さっぱりどこかへ飛んでしまい、

今となっては、A-netの新千歳移転で存廃の危機にある丘珠空港を存続させるための存在でしかなくなるとしか思えません。

HACは元々、道内地方都市間を結ぶエアコミューターとして、北海道とJAS（当時）が設立した第三セクターです。

当初路線はその目的通り、函館―釧路―旭川のトライアングル路線をそれぞれ1日2便ずつ往復するものでした。

これは、札幌基点一辺倒に偏っている道内路線網の中で、道南・道東・道北の各地方都市を直接結ぶ路線として画期的でした。

この3都市間は、広い北海道の中でも特に距離が長く、クルマや列車で行こうとするとけっこうしんどいものがあります。

まさに1時間でひとつ飛びできるエアコミューターがびったりの交通機関だと思います。

私も仕事で何度か利用しましたが、ジェット機より低い高度を飛ぶため、景勝地が間近に見えて快適そのもの。

すばらしい景色に見とれている内に、あっという間に着いてしまいます。

そのHACが本来の目的を逸れ出したのは、新千歳一函館線を開設した辺りからではないでしょうか。

それまで函館に軸足を置いていたのが、この路線を開設してから怪しくなり始めました。

案の定、数年後には新千歳―釧路を開設し、軸足も完全に新千歳へと移って行きます。

そしてとうとう旭川―釧路線の廃止、新千歳―女満別線の就航、一部路線の丘珠空港利用、へと突き進んで行きます。

こうなると、この航空会社がいつかのために設立されたのか、その意義は完全に失われてしまったと言えます。

新千歳基軸の道内路線を組むのであれば、はっきり言って何もわざわざ第三セクターなど必要ありません。

既に路線を持っている民航があるのでそれならそれに任せれば良いのです。

最近の報道を見る限りその意図はさらに変質し、明らかに丘珠路線維持のためにHACを運航させようという意図がみえみえです。

この北海道において、本来のエアコミューターが定着する努力もなしに崩壊して行く事をたいへん残念に思います。

「坂の上の雲」 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年9月13日(月)21時42分50秒 [返信・引用](#)

久々に北鎮記念館へ行ってきました。

しばらく前から開催されている特別企画、「旭川第七師団と坂の上の雲」を見るのが目的です。

「坂の上の雲」はもちろん司馬遼太郎の実録小説で、現在NHKが3年がかりでドラマ化している作品です。

北鎮記念館では、従来から日露戦争関連の常設展示コーナーを設けていますが、

今回は、それら既存の展示品と特別展示品とを合わせ、旅順攻撃・203高地の激戦、奉天会戦などを通じ、

当時の第七師団の動きを中心に秋山兄弟との関連などを時系列で克明に解説しています。

正直、見る前までは1階の展示場に特別展示品が並べてある程度に考えていたのですが、

実際には2階の常設展示部分もこの企画に合わせて再構成されており、かなり力が入っています。

元来対露防衛を目的とした第七師団は、旭川で編成完結してから3年目に日露戦争を迎えており、

屯田時代を含めたその生立ちそのものが「坂の上の雲」の時代背景と合致しています。

「第七師団歴史」をはじめとする日露戦争時の貴重な資料を所蔵する北鎮記念館としては力が入って当然かもしれません。

記念館の性格上、またこの企画の性格上、どうしても軍事的観点からの史実が中心ですが、

改めて北鎮記念館の、近代歴史館としての素晴らしさを感じた次第です。

と同時に旭川の郷土史でもありますので、ぜひ皆さんも足を運ばれることをお勧めします。

北の嵐山 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年9月7日(火)20時14分23秒 [返信・引用](#)

「嵐山陶芸の里」が、今後観光面で知名度アップを推し進めて行くにあたって名称を変更しました。新しい名称は「北の嵐山」としたそうです。

名称変更の理由は大きく2つあり、

1つは、単に嵐山と言ってしまうと本家京都の嵐山と勘違いされてしまうという事と、

もう1つは、実際には陶芸ばかりでなく、ガラス工芸や木工クラフト、染色などの工房もあり、

ギャラリーやカフェなども含めると「陶芸の里」というのは必ずしも正しくない、

という事だそうです。

確かに旭川の嵐山は、元々京都の嵐山にその名を由来しており、

京都嵐山の圧倒的な知名度を考えるとこのままではまずいのは間違いないと思います。

ですからこれを「北の嵐山」としたのはやむを得ないところだと思います。

しかし、なぜ「陶芸の里」まで切ってしまったのか？  
いくら陶芸ばかりでないというのが事実とはいえ、やはり核になってるのはまぎれもなく陶芸ではないでしょうか。  
陶芸の里という名称は特に誰かが意図的に推し進めてきた訳ではなく、どちらかと言うと自然発生的に付いた名だと理解してます。  
それはこの旭岡が、いつの頃からか陶芸家の工房が数多く集う地域となっていた事から付いた名に他なりません。  
その経緯から考えてもやはりここは陶芸の里と呼ぶのがベストだと思います。  
陶芸以外の工房の方々の気持ちも分らないではないですが、これでは何が”売り”なのか対外的にボケてしまいます。  
かといって、あれもこれもと挿入すると長ったらしいだけで逆効果です。  
ここはひとつ陶芸を立てて「北の嵐山・陶芸の里」とすべきではなかったでしょうか。  
あるいは「北の嵐山」にサブ名称として「陶芸の里」を付ける事で良いと思います。

ところで、9月4日の道新朝刊に旭川開村120年記念企画特集が1面を使って載っていましたが、  
その中に「旭川といえは、なに？」という道内外他都市120人に対する旭川の印象アンケートが集計されていました。  
例によって「旭山動物園」「旭川ラーメン」や「旭川家具」などが圧倒的に多く、概ねこんなもんかなと思われる集計結果でした  
が、  
たいへん残念な事に「陶芸」の欄には全くカウントされていませんでした。  
旭川の陶芸のマチとしての認知度は、まだまだ限りなくゼロに近いと言えるようです。

私はサイト中でも述べている通り、陶芸の里（地元人ですので敢えてこう呼び続けます）は、動物園に次ぐ旭川の顔と成り得るすばらしいスポットだと思っています。  
それも俗っぽい観光地とは全く異質の、独自のスタイルの都市型観光スポットとしての可能性を秘めていると思います。

新生「北の嵐山」の大いなる奮起を期待します。

[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/machi/tousei.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/machi/tousei.html)

Re: 今さら「鉄道のマチを売り込もう」とは・・・ 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 9月 3日(金)17時28分47秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

カールジョッピンさん、お久しぶりです。  
いつ聞いてもいい響きの名前ですね（笑）

実はJR北海道と旭川観光協会とでは微妙な温度差があるような気がします。  
記事を見る限り、JRの意図は「旭川を基点とした鉄道ツアー」を売り込んで行きたいとも取れるニュアンスです。  
これに対し旭川観光協会は「動物園に次ぐ旭川観光に」というずいぶん大それた言い方です。  
ですから「鉄道のマチを売り込む」という文脈自体が例によって新聞記者の履き違えた創作なのかもしれません。

ただ、その辺の意図の違いを差し引いたとしても旭川観光協会のコメントはボケてるのでしょうかありません。

Re: 今さら「鉄道のマチを売り込もう」とは・・・ 投稿者: カールジョッピン 投稿日: 2010年 9月 1日(水)10時37分47秒

[返信・引用](#)

> [No.359\[元記事へ\]](#)

こんにちは。  
お久しぶりです、カールジョッピンです。

扇形車庫の取り壊しはホントに残念でしたね。  
鉄道工場レンガ棟の中途半端な使用用途と合わせて、私も旭川市の対応に強く疑問を感じます。  
扇形車庫周辺を鉄道博物館的に整備して、近くにあるサイバルと合わせてアピールしたら、  
多くの鉄道ファンや、子供連れの家族を呼び込む事が出来たのではないかと思います。  
老朽化した扇形車庫の維持管理に掛かる経費の問題や、その他諸事情により取り壊し已む無しの事情があったのかも知れませんが、  
だったら今更、鉄道を旭川の魅力としてアピールだなんて言って欲しくありませんね。

Re: ご無沙汰です。 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 8月30日(月)21時36分37秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

IMAIさん！  
いやあ、ほんとお久しぶりです。  
ずいぶんしばらく音沙汰がなかったの、その後どうされたか気にしておりました。  
ぜひまた一言でも構わないですから書き込んでやってください。m( )m

このエゾ鹿の写真、綺麗に撮ってますねえ～  
光の使い方が我々素人とは違いますよね。  
角にトンボが留まってるどころまで捕らえてるあたり、さすがです。

Re: 今さら「鉄道のマチを売り込もう」とは・・・ 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 8月30日(月)21時22分45秒

[返信・引用](#)

貧乏市民Aさん

大宮の鉄道博物館は3年前の確か鉄道記念日に開館してますよね。  
そしてちょうど時を同じくして旭川では扇形車庫の取り壊しがはじまりました。  
当BBSの一番最初の頃のレスにこの辺りの経緯が書き込まれています。

私もずっと扇形車庫とレンガ棟を追い続けていましたので、  
今さらになってのこのような話には本当に悔しいものがあります。

ご無沙汰です。 投稿者: IMAI 投稿日: 2010年 8月30日(月)13時46分22秒

[返信・引用](#)

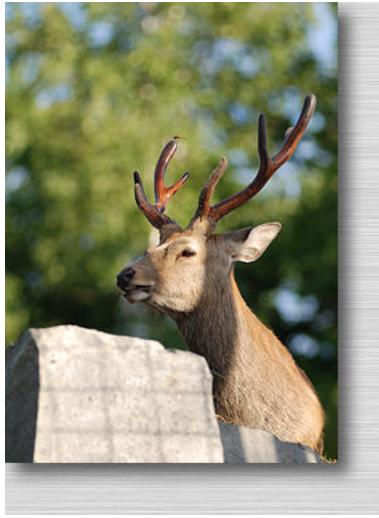
momonga様

IMAIです。

大変ごぶさたでございます。

自宅のpc壊れてなかなか見ることが出来ませんが たまに拝見させて頂いております。

先日久々に動物園に行ってきました、施設も次々増えてとても新鮮でした。



Re: 今さら「鉄道のマチを売り込もう」とは・・・ 投稿者:貧乏市民A 投稿日:2010年 8月29日(日)19時20分15秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

> [No.359\[元記事へ\]](#)

大宮の鉄道博物館って大変な人気だそうです。  
鉄道記念館、道内には小樽に小規模なものがあるようですが  
知名度はいまいちのような気がします。

もう遅いですが扇形車庫、レンガ棟などは魅力ある鉄道記念館  
の素材になったかもしれませんね。  
鉄道車両・施設などは多くの人々が利用してきたものでありそ  
の歴史は鉄道ファンはもとより一般の人々にとっても興味深い  
ものがあります。

ありきたりの科学館とか博物館にお金をかけるなら車庫・レン  
ガ棟は鉄道記念館として保存、観光資源として活用できたので  
はと思ひ残念です。  
保存・活用の仕方によっては動物園と並ぶ観光資源になったかも。

今さら「鉄道のマチを売り込もう」とは・・・ 投稿者:momonga 投稿日:2010年 8月27日(金)18時39分16秒

[返信・引用](#)

8月25日付北海道新聞経済欄に不可解な地域経済特集記事が載りました。  
”旭川で「鉄道」をマチの魅力として売り込む機運が高まってきた。”そうです。

はて??

つい最近、大正時代の扇形車庫という全国的にも希少な鉄道遺構をぶっ潰し、  
唯一残った明治の鉄道工場レンガ棟も、およそ他所者には出入りできない様なしょうもない施設にしてしまったばかりですが??  
かつての鉄道のマチを想わせる代表的遺構を台無しにしてしまったにも関わらず、  
これからいったい何を売り込もうと言うのか?

どうやら、JR旭川支社が企画した留萌線や宗谷線を走らせる鉄道ツアーが好評だった事や、  
旭川駅を眼下に眺められるターミナルホテルの宿泊パックなども予想以上の反響である事に起因しているようです。  
7年前から企画されている鉄道ファン向けツアーも好調続きで、本州からのリピーターも少なくないとの事。  
全国的な鉄道ブームを受け、JR北海道も旭川観光協会も、  
「旭山動物園に次ぐ旭川観光の新たな魅力として、今後は鉄道も売り出したい」・・・そうです。

どうして、やる事成す事こんなにちぐはぐなんでしょう?

それならば、なぜ扇形車庫の保存を考えなかったのか?  
どうして工場レンガ棟を観光目的に利用する事を考えようとしなかったのか?  
これらを鉄道ファン向けツアーと結びつければ強力な目玉にできたはずで  
鉄道ブームは何も最近だけの流行りではなく、昔からファンの数はけっこう多くて根強いものがあります。  
特に時代復古を感じさせる鉄道ツアーや、古い鉄道施設巡りなどに人気が集まることは今に始まった事ではありません。  
つい2~3年前にちよっとでもこの事に想いを馳せれば容易に「観光に活かせないか?」となったはずで

鉄道のマチとしての象徴的遺構をパーにしてしまった今さらになって鉄道のマチを謳いだす神経が分かりません。  
手遅れではないでしょうか。

[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/tetsuro/onlyone.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/tetsuro/onlyone.html)

Re: もっともっと話題になっていいと思う 投稿者:momonga 投稿日:2010年 8月10日(火)19時59分10秒

[返信・引用](#)

ちびさん、初めまして。  
関係者からの書き込みという事でこちらこそたいへん嬉しく思います。

私も生ステージを拝見したのはまだ昨年の水まつり1度だけですが、あの独創的でユニークなパフォーマンスには大感激しました。  
正直どれも同じようなヨサコイソーランばかりが道内各地のイベントに蔓延する中、  
旭川にはまだまだあのような独自のパフォーマンスを生み出すパワーが生きているのだなあ・・・との想いです。

旭山動物園もその獨創性がここまでの地位を築き上げました。  
さすがに動物園とは単純比較できませんが、私は鉄工青年会が生み出したこのパフォーマンスは全国レベルで話題になってもちっと  
もおかしくないと思っています。  
ただ、まだまだ市民でも知らない方が多いと思われ、認知度という面ではまさにこれからだと思います。  
仕事でお忙しい中での活動とは思いますが、是非とも継続発展させて行かれる事を願っています。

Re: もっともっと話題になっていいと思う 投稿者:ちび 投稿日:2010年 8月 9日(月)16時14分4秒

[返信・引用](#)

> [No.351\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

初めまして。今何気なくこの掲示板を見つけ、旭川鉄工青年会の記事がかかれていたので嬉しくなり思わず返信してしまいました。実は私青年会の関係者でありまして、あのパフォーマンスを知っていただいているとの事でまずはお礼申し上げます。仲間と一つの目標に向かって頑張り、励ましあい、そして大きな感動と達成感を得ることのできるこの活動は私たちにとって、とても大切なものとなりました。今後の活動は未定ですが、またパフォーマンスをさせていただく機会がありましたら是非観に来て下さい。お待ちしております。

ちび

- > 今年もまた石狩川フェスティバル=水まつりが開かれました。
- > 残念ながら私は昨日の夜は行けず、昼間にちょっとだけ会場の様子を覗いてきました。
- > やはりこのイベントは夜に行かなきゃだめですね。
- >
- > 私の楽しみは何といっても旭川鉄工青年会による火花のショーです。
- > なんと、作業着と安全靴にヘルメット姿という武骨集団がグラインダー片手に音楽に合わせて鉄骨を削り、ダンスを交えてステージいっぱいに火花を散らすというパフォーマンスはおもしろ過ぎです。
- > Youtubeに映像がアップされてましたのでリンクを張っておきます。
- >
- > <http://www.youtube.com/watch?v=vhWYjWWz1cw&feature=related>
- > <http://www.youtube.com/watch?v=ZF2beKzcjWY&NR=1>
- >
- > 普段は鉄工所に勤務される方々で繰り広げられるこのパフォーマンスは全く独創的で、グラインダーで鉄を削るところを見せ物にしてしまうなどとはおそらく誰も考え及ばなかった事でしょう。
- > マネされていなければおそらくこんなショー（失礼）は他では見られないのではないかと思います。
- > またこのステージを見る事ができるのも水まつりや冬祭りなどの限られたイベント時だけです希少価値も有りです。
- >
- > 以前NHKで紹介された事はあるようですが、
- > 私はこの奇抜な（またまた失礼）パフォーマンスはもっともっと注目されて良いのではないかと考えています。

このままでは丸井今井は旭川市民に恨まれる？ 投稿者:momonga 投稿日:2010年8月4日(水)19時04分29秒

[返信・引用](#)

丸井今井旭川店が閉店して1年を過ぎました。結果的に西武百貨店が残り、丸井今井の顧客のかなりの部分の取り込みに成功しているようですが、それでも中心街の一区画を占める大店舗が閉じたままになつて悪影響はかなり大きいものがあります。これ以上空家のままの長期化は周辺商店街のみならず丸井今井にとっても良い事はないのではないのでしょうか。旭川市民に恨まれてしまう事になると思います。

と言うのは、買い手が全く現れないのならともかく、既に報道されている通り実際には建物の買い手はとっくに現われているからです。報道で伝えられている東証1部上場の証券会社というのは昨年の閉店後けっこう早い時期から名前が上がっていました。にも関わらずここまで長引いているのは何故か？考えられる理由は明白です。買い手の提示する金額と丸井今井側（債権者側）が設定した売却価格との開きが大きいからです。

しかしながら経営破綻した丸井今井にそんな悠長な選択の余地などないと思うのですが・・・どうあがいても金額の上積みはほとんど期待できないし、かと言って現状で新たな買い手はもっと期待できません。長引かせる間にメンテナンスをしていない建物の資産価値は急速に失われていきますし、建物だけでなく自らの閉店のせいで周辺の地価をも下げてしまっています。旭川の市民感情からすると「いくら安く売ろうが旭川のためにさっさと売ってくれ」と言いたいところでしょう。

一説によると丸井今井の本来の債権者は既に外資系ファンドに債権を売ってしまつたため交渉が難航してるとか、あるいは丸井今井側が売却に当たって建物に何らかの条件を付けている、等々の話も聞かれます。裏の詳しい事情はわかりませんが、これらが事実とすれば、110年以上の長きに渡り親しんできた旭川市民に対し、完全に恩を仇で返す形となります。それだけでなく決定から余りにも早かった閉店、しかもちょうど上川神社祭りの閉店劇で「丸井は旭川に最後っ屁をかけた」と揶揄されました。たとえ実際は丸井今井自身の意図でないとしても大多数の市民にはそんな事情はわかりません。「丸井が価格を吊り上げるため売却を渋ってる」「閉店したら旭川がどうなるのがあったこっちゃないのか」としか受け取れないのです。「札幌ヘショッピングに行っても丸井だけは行かない」などと言い出す人も出てくるかもしれません。

いずれにしても丸井今井側が売却に応じない限り空家の解消が不可能なのは事実です。一刻も早く売却交渉がまとまり建物が再生される事を願います。

Re: もっともっと話題になっていいと思う 投稿者:momonga 投稿日:2010年7月28日(水)23時01分32秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

ascapitさん、私も水まつりでこのようなショーをやっていると聞き、昨年初めて見してきました。水まつりには毎年出ているみたいですよ。何と言っても他では見た事も聞いた事もない独創性が良いと思います。回を重ねるごとにバージョンもアップしているみたいですから是非ご覧になることお勧めします。

Re: もっともっと話題になっていいと思う 投稿者:ascapit 投稿日:2010年7月28日(水)00時38分0秒

[返信・引用](#)

> [No.351\[元記事へ\]](#)

YouTubeの画像を見させていただきました。

こういうものがあるとは知らなかったです。すごい迫力ですね！もっと見られる機会が増えると嬉しいです。その際は是非生で見てみたいと思います。

やはり単なる貸部屋・貸ホール 投稿者:momonga 投稿日:2010年7月22日(木)19時15分58秒

[返信・引用](#)

先日オープンした「GoCoDe」の内部を見てきました。

あの味のあるレンガ造りの外観から、きっと何かの記念館か資料館だろうと期待して玄関に入る人は多いと思います。すぐ隣が科学館だけになおさらそういった施設を連想します。(写真1)しかし、それを期待して玄関に入ると「あれ？何だろうここは・・・」と戸惑うこと間違いなしです。玄関左右のガラス壁面沿いにイスとテーブルが配置され、右手は「情報閲覧コーナー」とあります。一瞬「図書館？」とも思えますがそれにしても小さな書棚が1つ2つ置いてあるだけで本もガラガラ・・・(写真2)しかも左手には幼い子供が遊ぶスペースすら目に入ってきません。おそらくこの時点でここが何なのか見抜ける人はいないと思われるます。あるいは、メインの入口が別にあるのかな？と回れ右してすぐまた出て行く人もいると思います。

奥に進むとオープンカウンターで仕切られた事務所に数名のスタッフがいましたので、あえて尋ねてみました。  
 「ここは何をやる場所ですか？」  
 期待を裏切らぬ答えが返ってきました。  
 「公民館のようなもので、ホールや会議室になっていて市民やNPOなどに使ってもらっています」

計画段階からこうなる事はみえみえだったので今さら驚きもしませんでしたが、正直私は、たとえ用途はそうであってもせめて玄関ホール付近くらいはこの建物の歴史や旧国鉄工場時代の紹介スペースとして一般市民や観光客も気軽に入れる開放スペースになるのではないかと期待していました。しかし、そのささやかな期待すら完全に裏切られてしまいました。入ったとたん「もしかして関係者以外お呼びでない？」の雰囲気です。事務所カウンター横の通路脇に台所との間仕切り代わりにガラスのショーケースが置いてあり、国鉄工場時代の表札プレートなど数点が展示されていますが、何の説明もないために何故ここにこんなものが展示されてるのか全く脈絡不明です。(写真3)  
 CoCoDeのパンフレットの片隅にかりうじて旧国鉄の工場であった事が数行記されているのみです。

中は自由に見てくださって結構ですという事だったので一応一通り見てきました。事務所のある棟の2階が会議室や打ち合わせ室になっていますが建物の構造上非常に天井が低い造りになっています。(写真4)もう1棟の方が全面ホールになっていて簡易ステージが設けられており、パイプ椅子なら200人ほど入れそうです。(写真5)いずれもところどころレンガの外壁が見えており、レンガ壁の内側に新しい構造物を造ったという感じです。2棟を渡り廊下で結ぶ形でユーティリティスペースとなる新しい棟が建てられ、ここには食堂のようなロビーが設けられています。(写真6)  
 この日は全く利用がないらしく、スタッフと関係者と思しき人以外は全館無人でした。

オープニングでは市民によるフラダンスなどが行なわれたという事ですが、この謳い文句は「まちづくりのための市民活動の場」であったかと思えます。言っちゃ悪いですがおばさん連中の趣味のフラダンスがまちづくりとどう結びつくのか？結局のところ予想通り、趣味でも遊びでも使える貸部屋・貸ホールに過ぎないということでしょう。地区の公民館や住民会館、あるいはときわ市民ホールなどで充分用は足りてると思われます。

改めてこの希少な建物をこんなくだらない用途にしてしまった行政当局・市議会の浅はかさにあきれます。今からでも用途を変更し、広く一般市民や観光客に開放された施設にする事を望みます。

#### 写真1・2・3



やはり単なる貸部屋・貸ホール 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 7月22日(木)19時13分16秒

[返信・引用](#)

写真4・5・6



もっともっと話題になっていいと思う 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 7月12日(月)20時32分6秒

[返信・引用](#)

今年もまた石狩川フェスティバル=水まつりが開かれました。  
残念ながら私は昨日の夜は行けず、屋間にちょっとだけ会場の様子を覗いてきました。  
やはりこのイベントは夜に行かなきゃだめですね。

私の楽しみは何とんでも旭川鉄工青年会による火花のショーです。  
なんと、作業着と安全靴にヘルメット姿という武骨集団がグラインダー片手に音楽に合わせて鉄骨を削り、  
ダンスを交えてステージいっぱい火花を散らすというパフォーマンスはおもしろ過ぎです。  
Youtubeに映像がアップされましたのでリンクを張っておきます。

<http://www.youtube.com/watch?v=vhWYjWWz1cw&feature=related>  
<http://www.youtube.com/watch?v=ZF2beKzcjWY&NR=1>

普段は鉄工所に勤務される方々で繰り広げられるこのパフォーマンスは全く独創的で、  
グラインダーで鉄を削るところを見せ物にしてしまうなどとはおそらく誰も考え及ばなかった事でしょう。  
マネされていなければおそらくこんなショー（失礼）は他では見られないのではないかと思います。  
またこのステージを見る事ができるのも水まつりや冬祭りなどの限られたイベント時だけです希少価値も有りです。

以前NHKで紹介された事はあるそうですが、  
私はこの奇抜な（またまた失礼）パフォーマンスはもっともっと注目されて良いのではないかと考えています。

旭川・美瑛・富良野が人気トップ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 7月10日(土)11時21分27秒

[返信・引用](#)

7月7日付け道新朝刊経済面にJTB北海道が行なったネット調査結果が載っていました。  
JTB関連サイトの登録会員向けの調査で、北海道観光の行きたい地区で旭川・美瑛・富良野地区が人気トップだそうです。

旭川・美瑛・富良野	16%
函館・大沼	14%
網走・知床	12%
札幌・小樽	12%
釧路・阿寒湖	11%
利尻・礼文	10%
帯広・十勝	10%
登別・洞爺湖	7%
その他	10%

回答が複数選択可ということなので全体的にあまり大きな差が出てませんが、  
これがもし1つのみ選択の回答であればおそらくもっとはっきりした大きな差になったと思われます。  
いずれにしても近年この地域の賑わいぶりを反映している調査結果だと思えます。

注目すべきは観光目的別の調査で、  
「自然」が32%、「食」が25%で、この2つで6割近くを占めており、  
かつては主要な目的の1つであったろう「温泉」がわずか5%と思ったより大きく落ち込んでいることです。

つまり近年の北海道観光のイメージは、大自然の景観は普遍のものとして、かつての、くつろぎ・宴会・温泉型から完全に自然満喫・グルメ・リゾート型に移行したと言えます。この傾向に伴って宿泊地も、温泉ホテルよりはリゾートホテル・ペンション、あるいは都市部のシティホテルのほうがむしろ好まれるようになってきたと思われます。大自然だけではなく同時にある程度人の手に抛るもの、つまり、魅力ある観光スポットや利便性、洗練された飲食店や宿泊施設をも合わせ持つ事が要求されるようになったのではないのでしょうか。お花畑や動物園やドラマロケ地など大自然を背景にしたいくつもの人気スポットを1つの沿線上に持ち、もちろん食べ物もおいしい旭川・美瑛・富良野地域は正にこの傾向にピッタリ当てはまったと思われる。

ここで旭川について言えば、これらの傾向を絶対に見逃してはならないという事です。旭川は昔から層雲峡や天人峡・旭岳・白金などの近隣温泉地に宿泊客の多くを奪われ、「昼めし都市」「おしっこタイム都市」などと揶揄されてきました。観光宿泊客の市内への呼び込みについては一種あきらめのムードすらあったような気がします。しかし今は違います。旭山動物園によって少なくとも「おしっこタイム都市」であることはなくなりました。富良野・美瑛観光とも相まって滞在時間が大幅に長くなっています。当然、観光客だってこの沿線にちょっと気の利いたホテルがあれば泊まりたいはずですが。しかも宿泊客の多くが望むのは温泉に入る事ではなく、グルメ心を満喫させてくれる多種多様な飲食店がある事なのです。

つまり、旭川は今、観光的に千載一遇とも言えるすばらしいポジションにいると思われませんか？

ガーデン街道HPにグランドホテル 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 7月10日(土)10時53分43秒

[返信・引用](#)

以前、北海道ガーデン街道のHPにおいて旭川のホテルの掲載がない事を問題視しましたが、旭川グランドホテルが追加掲載されたようです。宿泊地として旭川だけが抜けていた問題がかうじて解消されました。  
<http://www.hokkaido-garden.jp/>

これは単にHPに載るか載らないかの問題でなく、この企画そのものに旭川のホテル業界が参画しているかどうかの問題であると思います。参画していない限りはせつかく好調と伝えられるガーデン街道ツアーの宿泊先として組み込まれない事も考えられます。その場合つまり、上野ファームという中核を担うガーデンの一つがありながら旭川は宿泊地対象からは外れる事を意味します。

HP上の謳い文句が「森やガーデンのあるホテル」ですから本来の趣旨からいうと旭川には該当するホテルがありませんが、ここにグランドホテルが加えられたという事は関係者も旭川のホテルが1つも載ってない事に問題を感じたのかもしれませんが。あるいはホテル側がここへきてようやく積極的に参画して来たという事なのかもしれません。

趣旨にも合致したメジャーなホテルが存在する事が望ましいのはもちろんですが、現状無いものねだりをしては仕方ありません。まずは既存のホテルにももっともっとアクティブに頑張ってもらいたいと思います。

《前のページ》 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 《次のページ》

以上は、新着順1201番目から1250番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順  投稿順

[【論・旭川】HPへ戻る](#) [管理者へメール](#)

[RSS](#)

[管理者メニュー](#) [自分の投稿の編集](#)

[teacup.レンタル掲示板](#)